



# なぎさの子

～粘り強く考え創造する子(知)  
～仲間を思いやるやさしい子(徳)  
～進んで体を鍛えるたくましい子(体)  
～故郷を誇りに思い愛する子(愛)

## ～平和を考える～

校長 塩原千夏

この8月に戦後80年を迎えました。様々なテレビ報道・ドラマ・映画でも扱われている戦争と平和について、今年は節目の年となり改めて考える機会が増えています。

ここ稚内市は、子育て平和宣言都市として、毎年9月1日を平和の日と定め、宗谷岬の平和祈念公園にて式典が行われます。大韓航空機撃墜事件の遺族会代表として、奈良県から毎年この地を訪れる山口氏に、直接お話を伺う機会（高学年対象）をもてることになり、本校にも当日午前に来ていただくことになりました。午後は、市内各校より児童生徒代表が平和祈念公園に集います。ここ数年、本校では6年生が参加しております。山口氏から直接お話を伺った後の式典参加ということで、気持ちも今までとは違ってくると思います。その他の学年も発達段階に合わせて教室で平和学習を行う予定です。この学習を通して、改めて皆が幸せに生きるために、身近なことも含め、自分たちができることは何かを考える機会にしてほしいと思います。

世界に目を移せば、現在も戦争や争いが絶えず、人々が傷つき、命を落とし、飢餓に苦しんでいます。先日たまたま見たテレビ番組で、アメリカから幼子3人を連れた一家が日本に移住してきた動機が、「家の周りで銃声が響きおびえる生活だったので、安心して子供たちを育てたい。」というものでした。「言葉も全く違うのにすごい勇気だ!」と思ったと同時に、それよりも“安心して暮らせる日本での生活”のメリットの方が大きいのだ、と改めて平和の有難さをかみしめた瞬間でした。このご家族の今後の幸を祈らばかりです。

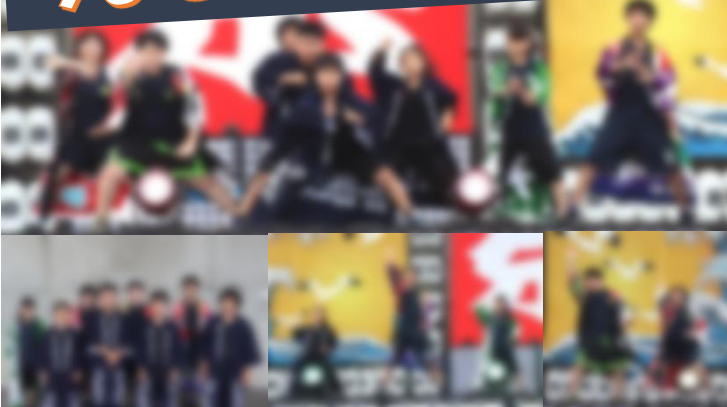
折しも、今秋に第72回日本PTA北海道ブロック大会宗谷管内・稚内大会が行われます。その記念講演の講師として、シンガーソングライターの宮沢和史氏（元 THE BOOM ボーカリスト）が来稚します。演題は『戦後80年を迎えて～沖縄と北海道から平和を願う～』です。世界を知る宮沢氏の話の中に、沖縄戦に関わって生まれた名曲「島唄」にまつわる秘話も聞けるものと思われまます。

この宮沢氏と私が二十数年来の親交があることから、「東京に戻る前に宗谷小を訪問するよ。」というご厚意により「ドリーム・タイム」が実現します。子供たちへ平和のメッセージを語ったり、一緒に「風になりたい」を歌ったりする予定です。せっかくの機会ですので、沿岸の他の3校も一緒に参加することになりました。貴重な時間を一緒に堪能してほしいと思います。

他にも、2学期には外部講師を招いて特別な体験学習の場をさまざま予定しています。それらを通して、子供たちが視野を広げたり刺激を受けたりする機会になればと願っています。

どうぞ、2学期も引き続き、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 今までで最高の踊り!



7月26日。心配されていた天候も晴天に恵まれた中、「南中ソーラン全国交流祭」が行われました。

本番までに富磯小と合同でできた練習は3回しかなく、リハーサルもなかったので、当日参加した8人のメンバーには不安があったと思います。

しかし、スタートの「行くぞ!」から大きな声が会場に響き渡り、本番中の踊りや掛け声も堂々としていて、今までで最高の出来上がりでした!

応援に来ていただいた保護者からも大きな歓声があがっていました。

踊り終わった後の一人一人の清々しい顔が、何かに一生懸命取り組んだ充実感を表していたと思います。

参加メンバーの皆さん、本当に格好良かったです!

